



財団法人 熊本県教育会館ニュース

発行所
熊本市九品寺1丁目11-4
熊本県教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 野田 実
印刷所 ホープ印刷株式会社

東日本大震災の全ての被災者の皆様に 心からお見舞いを申し上げます

被災校支援のため岩手県・宮城県・福島県へ
各100万円の図書カードを寄贈します。

岩手県(19校)	〈県立〉	湊第二小学校	〈大崎市立〉
〈大船渡市立〉	高田高校	大川小学校	古川第一小学校
赤崎小学校	宮古工業高校	相川小学校	古川東中学校
越喜来小学校	宮城県(50校)	吉浜小学校	〈丸森町立〉
気仙小学校	〈仙台市立〉	谷川小学校	丸森東中学校
赤崎中学校	西多賀小学校	雄勝小学校	〈巨理町立〉
気仙中学校	将監小学校	船越小学校	荒浜小学校
広田中学校	将監西小学校	渡波小学校	長瀬小学校
小友中学校	蒲町小学校	湊中学校	荒浜中学校
〈釜石市立〉	南光台小学校	雄勝中学校	〈山元町立〉
鶴住居小学校	折立小学校	渡波中学校	山下第二小学校
唐丹小学校	中野小学校	大川中学校	中浜中学校
釜石東中学校	荒浜小学校	〈気仙沼市立〉	〈七ヶ浜町立〉
唐丹中学校	東六郷小学校	南気仙沼小学校	七ヶ浜中学校
〈大槌町立〉	愛宕中学校	〈名取市立〉	〈女川町立〉
大槌小学校	南光台東中学校	関上小学校	女川第四小学校
赤浜小学校	根白石中学校	関上中学校	女川第二中学校
大槌中学校	七北田中学校	〈栗原市立〉	〈南三陸町立〉
〈宮古市立〉	西山中学校	志波姫小学校	戸倉小学校
鶴磯小学校	* 未定	〈東松島市立〉	名足小学校
千鳥小学校	* 未定	浜市小学校	戸倉中学校
〈山田町立〉	〈石巻市立〉	野蒜小学校	福島県
船越小学校	門脇小学校	鳴瀬第二中学校	(準備中)

今年3月11日に発生しました東日本大震災により学校教育関連も多大の被害を受けています。理事会では、熊本県教育会館としてできる精一杯の支援として「東北3県の被災校へ図書寄贈事業」を行うことを決定しました。被害の大きさを考えれば出来るだけ多くの支援が求められますが、当会館の財政規模や会館が抱える財政課題から判断して、各県100万円、合計300万円の特別財源を設定することにしました。現地の被害の状況には不案内で

すから、各県の県教育委員会、市町村教育委員会、教育会館と連絡を取りながら別掲の被災校への寄贈を進めています。また、平成25年11月末までに「新公益法人制度」への対応としての「法人移行」を行わなければならないと。現在「一般財団法人」への移行を前提に「移行検討委員会」で審議を重ねている段階です。昨年は新法人の「定款(案)」が作成されました。会館ホームページに掲載されています。皆様もご覧いただき、会館

平成23年度の事業計画を決定

「新公益法人制度」による移行準備
岩手・宮城・福島の被災校への図書寄贈

5月26日(木)に評議員会が、27日(金)に理事会が開催され、平成22年度の事業報告・決算の承認と23年度の事業計画・予算が決定されました。

定期異動により、小中学校長会の原田憲一氏、熊本市総務部職員厚生課長の岩永益夫氏、熊本市教育委員会総務企画課長の松石龍太郎氏の3名が辞任され、新たに角居恭一氏、宗良治氏、井上正文氏が就任されました。

新公益法人制度移行検討委員会のH23年度委員

NO	構成	氏名
1	評議員 (内部)	丸野純哉氏
2	監事 (内部)	嶋田久義氏
3	事務局員 (内部)	福永薫(会館事務局長)
4	公認会計士 (外部)	吉永賢一郎氏
5	弁護士 (外部)	森徳和氏
6	教職員 (外部)	松崎哲郎氏
7	教職員 (外部)	今泉克己氏

までご意見をお寄せくださるようお願いいたします。今年の検討予定は、「公益事業」と「収益事業」との区分会計を実施し、「公益目的支出計画(案)」を作成することになっています。図書寄贈やセミナーの開催、教育会館寄席などの実施計画は別掲の通りです。また平成22年度事業報告と23年度事業計画は裏面に掲載しています。

平成23年度 理事・監事

役職	氏名	所属
理事長	野田 実	白川中学校
副理事長	今泉 克己	熊本県高等学校教職員組合
〃	井上 知行	熊本県教育政策課福利厚生室長
常務理事	西嶋 正	熊本県教職員組合
理事	松崎 哲郎	大野小学校
〃	林 賢一	阿蘇北中学校
〃	今村 良博	豊福小学校
〃	平江 佳幸	荒尾第四中学校
〃	岩田 智子	御船中学校
〃	石原 哲也	熊本養護学校
〃	松村 亮	熊本工業高等学校
〃	林 俊光	ひのくに高等養護学校
〃	角居 恭一	熊本県小中学校長会事務局長
〃	田中 和幸	熊本県公立高等学校長会事務局長
〃	兼行 雅雄	熊本県総務部総務センター長
〃	宗 良治	熊本市総務局総務部職員厚生課長
〃	井上 正文	熊本市教育委員会事務局 教育総務部総務企画課長
〃	東 市子	前理事長
〃	光永 新治	元理事長
〃	葉室 正信	元理事長
〃	吉田 恪	元副理事長
監事	菊川 芳郎	菊池北中学校
〃	須藤 哲郎	住吉中学校
〃	豆塚 健次	湧心館高等学校
〃	嶋田 久義	東稜高等学校
〃	吉永 茂	公認会計士

教育会館寄席

～第3回「柳家さん喬」寄席～

学校寄席1

- 日時 12月1日(木)14時～15時30分
- 会場 南関町立南関第二小学校
- 内容 ①落語(柳家さん喬) ②落語(柳家喬之助)
③太神楽(鏡味仙花) ④二胡(程農花)

学校寄席2

- 日時 12月2日(金)14時～15時30分
- 会場 上天草市立上北小学校
- 内容 ①落語(柳家さん喬) ②落語(柳家喬之助)
③太神楽(鏡味仙花) ④二胡(程農花)

ホール寄席

- 日時 12月3日(土)13時30分～
- 会場 熊本市国際交流会館7階ホール
- 内容 ①落語(柳家さん喬) ②落語(柳家喬之助)
③太神楽(鏡味仙花) ④二胡(程農花)
- 募集 教職員200名
(募集の方法は「教育会館ホームページ」に8月掲載予定)



メンタルヘルス

「こころゆったり講座」

- (1)目的 忙しい毎日をご過ごされる教職員に、ゆったりとした時間、自分を見つめ直す時間をご提供するために開催します。
- (2)内容 ストレスと、ストレスが身体に及ぼす影響及びストレスと上手に付き合っていくための方法など。
- (3)講師 小林伸行氏(医療法人社団高野会)
- (4)参加数 先着順20名。昨年参加されていない方を優先します。リラックスできる服装をお持ち下さい。
- (5)開催日時 8月5日(金)
●受付 9:45～ ●セミナー 10:00～11:30
●会食 12:00～13:00 ●解散 13:00
- (6)会場 熊本県教育会館
(熊本市九品寺1丁目11-4)
- (7)参加費 1000円(会食費用)
- (8)申込先 熊本県教育会館 担当(笹浪)
電話(096-372-3800)
- (9)申込締切 7月15日(金)16時まで、必ず電話でお申込下さい。

カムバック支援

「育児休業者現場復帰セミナー」

- (1)目的 育児休業中の教職員が現場復帰する際に、子どもを抱え大きな精神的なストレスを感じています。少しでも不安を解消してスムーズに教育現場に復帰できるように、県教育委員会、公立学校共済組合にご協力いただいて開催します。
- (2)講師 県教育委員会・公立学校共済組合から
- (3)参加対象 熊本県下の公立学校に勤務する教職員で育児休業を取得中の方。先着50名(託児有)。
- (4)開催日時 12月8日(木)13:00～16:00
- (5)会場 水前寺共済会館(熊本市水前寺1丁目33-18)
- (6)申込先 熊本県教育会館 担当(笹浪)
電話(096-372-3800)
- (7)申込方法 募集の方法は「教育会館ホームページ」に9月から掲載します。

平成22年度事業報告

I. 会館の財政運営について

(1) 会館の基本資金である会館建設基金(出資金)については、昨年より出資依頼を中止していません。そのため、新たな出資者はありませんでした。
出資金の返済は、退職による返済が361人、3,822,000円でした。この結果出資金の総額は前年度より3,822,000円減の1,079,921,000円となりました。
(2) 収入の大半をしめる地代家賃は、100%納入されています。
(3) 会議室賃料は、前年と比べ約23%の減となりました。11月末から2月初めまで、外壁の全面改修工事のため貸出を中止したためです。一般の利用は昨年と比べ19%減、出資者の利用は31%減となっています。
(4) 会館共済事業の集束手数料は約3,000万円と安定しています。また教育会館の特別給付金は、申請期間を3年間に延長しましたが年間給付額が1,400万円弱で安定しています。
(5) 退職者福祉年金事業は、平成22年度は事務運営費として300万円を繰り入れることができました。しかし、平成24年6月(団体口)までに終了を予定していましたが、23年度に300万円を繰り入れた後は、この事業からの繰入はなくなりません。
制度の終了に向けて、加入者へのお知らせと解約の手続きを進めましたが、昨年度中に中央三井信託銀行の契約がすべて終了しました。残りの契約33名、18,000万円の信託先である住友信託銀行と連携して個別対応を秋から実施し、3月の個人口の制度終了に向け万全の手続きを行います。
(6) 会館経営の安定化のための各種引当は、継続的に充足割合を高めています。その中で、建物修繕引当預金は、外壁の改修関係に2,200万円取り崩したため、1,000万円引当しましたが差引1,200万円減少しました。
(7) 会計全般については、1989年度よりユース会計社(吉永公認会計士事務所)と契約して適正に処理し、円滑な執行に努めています。法人移行の準備として、区分経理を行いました。
II. 管理業務について
(1) 夜間や休日の管理警備は、2名の職員が交替制で勤務し、常時できるようにしています。会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間でした。
(2) 安全管理については、各種保守契約を行っていません。
(3) 火災の未然防止と万一の災害に備えるた

め、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、火災時の避難訓練を実施しました。しかし、外壁工事のため冬の訓練ができなかったため、「地震等発生時のエレベーター停止時の対応訓練」を4月に実施しました。
また専門業者(ユージー防災設備)による防災設備の点検を9月15日と3月4日の年2回行いました。
(4) 外壁のタイルの剥落への対応として、7月に外壁の劣化度調査を行い、11月末から1月末にかけて外壁の全面補修工事を行いました。これにより、タイルの剥落や窓周りからの漏水の対策は完了しました。10年保証付帯契約としていますので、10年後をめどに再改修の対応を行うこととなります。
(5) 「教育会館ニュース」を2回(6月、12月)発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

III. 福祉共済事業について

(1) 会館共済

会館共済は昭和60年8月小学校の教職員を対象に生命保障「会館共済I型」を始めて26年目となりました。生命保障・貯蓄型・医療保障と保障範囲を広げて今日に至っています。
◎I型「遺族生活給付金共済・医療プラン」
発足26年目を迎えたこの制度は、加入者総数が12,650名となりました。ここ数年減少傾向にありましたが、第26次増となりました。
また11年目を迎えた「医療プラン」の加入者総数は約5,787名となり、前年より166名増加しました。
加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成21共済年度(平成21年9月1日~平成22年8月31日)は、死亡13人(前年度8人)で給付総額は1億9300万円(前年度1億3000万円)でした。また、医療プランの給付は190件(前年度184件)でした。
太陽生命の平成21共済年度の決算による配当金は、I型が41・10%(前年度52・94%)、医療プランが39・80%(前年度39・75%)となり、加入者に支払われました。
会館独自の特別給付金(会計年度、平成22年4月1日~平成23年3月31日)は申請期間を3年間に延長して2年目となりました。給付状況は別表のとおりです。
◎II型「貯蓄型生涯保障共済」
新規加入者は21名で、加入者総数は1,013名(前年度1,053名)になりました。
◎傷害プラン
第22次より導入した「傷害プラン」の

加入者は、142名(前年度147名)でした。
(2) 会館共済特別給付金の給付申請については、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会の開催を毎月1回から2回に増やし、15日毎に審査を行っています。
(3) 共済事業の制度や運営のあり方等の検討を行うため制度検討委員会を8回開催しました。特に昨年は、長年の懸案だった「介護保障の導入」について検討を行い、I型生命保障の特約として導入が可能になりました。平成23年9月1日から保障を開始します。
IV. 教育文化事業について
教育会館は営利を目的としない法人です。共済事業での益金を教育文化事業の資金にしています。
(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの20年間で約468校に寄贈しました。今年度も寄贈校26校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は2,490万円です。平成22年度の寄贈校は別掲のとおりです。
(2) 会館共済25年の記念事業として教職員対象に開催した「教育会館寄席」を、昨年は「学校寄席」として宇城市立豊福小学校でも開催しました。1年から6年生までの全児童と一緒に保護者、地域の方などが参加されました。
(3) かるた(小倉百人一首)の大会
2月6日(日)に開催された熊本県かるた協会主催の「第23回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り広げました。かるた競技の普及を支援するため、かるた協会が行っている月1回の練習会に対して、教育会館は会場を無料提供しています。
(4) 会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より「教育会館アートのひろば」を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。
(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス「こころゆたかり講座」を8月6日(金)に教育会館で、カムバック支援「育児休業者現場復帰セミナー」を12月8日(水)に水前寺共済会館で開催しました。また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「チャイルドラインくまもと」を支援するとともに、教職員向けの電話相談室「レモンガラス」を毎週火曜日に開設しました。

IV. 教育文化事業について

教育会館は営利を目的としない法人です。

共済事業での益金を教育文化事業の資金にしています。

(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの20年間で約468校に寄贈しました。今年度も寄贈校26校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は2,490万円です。平成22年度の寄贈校は別掲のとおりです。

(2) 会館共済25年の記念事業として教職員対象に開催した「教育会館寄席」を、昨年は「学校寄席」として宇城市立豊福小学校でも開催しました。1年から6年生までの全児童と一緒に保護者、地域の方などが参加されました。

(3) かるた(小倉百人一首)の大会
2月6日(日)に開催された熊本県かるた協会主催の「第23回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り広げました。かるた競技の普及を支援するため、かるた協会が行っている月1回の練習会に対して、教育会館は会場を無料提供しています。

(4) 会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より「教育会館アートのひろば」を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス「こころゆたかり講座」を8月6日(金)に教育会館で、カムバック支援「育児休業者現場復帰セミナー」を12月8日(水)に水前寺共済会館で開催しました。また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「チャイルドラインくまもと」を支援するとともに、教職員向けの電話相談室「レモンガラス」を毎週火曜日に開設しました。

平成22年度 決算報告

決算報告は紙面の都合上割愛させていただきます。教育会館ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

会館共済 特別給付金・給付状況

平成22年4月1日~平成23年3月31日

Table with 5 columns: NO, 内容, 給付, 前年. Rows include 入院見舞金, 医療プラン・初期入院, 休職見舞金, 出産祝金, 退職祝金, 満期祝品.

平成22年度 図書 寄贈校. List of schools including 荒玉, 菊池, 阿蘇, etc.

平成23年度事業計画

《基本方針》

- 1. 健全な会館財政の維持と、安定した管理運営に努めます。
2. 福祉共済事業の教育宣伝活動に努め、加入者の拡大を図ります。
3. 新公益法人制度移行のため、検討委員会を設置し準備を進めます。

I. 会館の財政・管理運営について

(1) 公益事業会計と収益事業会計の区分経理を進め、事業収入と管理経費の適正化を図ります。法人移行に当たっての今後の教育文化事業のあり方を制度検討委員会の方針化します。
(2) 個人情報保護の重要性を踏まえ、法令およびその他の規範に基づき、個人情報情報を適切に取り扱うようにします。会館が管理する会館関係者の範囲については、関係団体との協議を経て見直しを進めます。

(3) 新公益法人改革移行のための「検討委員会」を設置し、平成24年度の移行を目指します。検討委員会の委員の委嘱を継続します。

(4) 会館の安全管理のため、関係機関と連絡を密に行い保守体制を充実させます。
(5) 「教育会館ニュース」を発行し、会館設立の目的や現状を全教職員に知らせるとともに、教職員の相互扶助の共済事業の推進を図ります。また教育会館ホームページを活用して、情報の開示と発信に努めます。

II. 福祉共済事業について

(1) 会館共済I型「遺族生活給付金共済」、II型「貯蓄型生涯保障共済」とあわせ、I型「医療プラン」「傷害プラン」の加入をすすめるための安定をすすめます。
今年の9月1日(第22次共済年度)から「介護保障」を開始します。また、平成24年度から改正される「所得税・住民税の生命保険料控除税制改正」にあわせ、「介護医療」の控除制度が適用されるよう検討を進めます。
小中学校には、「医療プラン」子ども契約満期終了にあわせ、「けんこうレスキュー」(個人保険)を紹介し保障の継続をお手伝いします。また子ども保険「わくわくポッケ」をご案内し、ライフプランとしてのラインアップを進めます。

(2) I型につけた「入院見舞金」「休職見舞金」「出産祝金」「退職祝金」「満期祝金(図書券)」の特別給付制度を継続します。また医療プランの1~4日の「初期入院」特別給付を継続し、1泊2日から保障します。申請期間は事由発生から3年間とします。
特別給付の申請に対しては、「給付審査委員会」を月2回開催し、給付の適正と迅速化を図ります。
また、給付の申請忘れがないよう会館ニュースやホームページのお知らせを掲載するとともに、諸会議等を利用して注意喚起に努めます。

(3) 退職者福祉年金事業は平成24年3月(団体口は6月)終了に向け手続きを進めます。

III. 教育文化事業について

(1) 図書寄贈を継続します。寄贈校の選定にあたっては、検討委員会を開催し決定します。
また、3月11日に発生した東日本大震災により学校教育の現場でも混乱が続く状況に対し、学校図書教育の復旧支援として岩手、宮城、福島の3県教育委員会に各100万円を寄贈します。
(2) 県からの協会の活動に協賛し、児童・生徒のための「小倉百人一首かるた大会」を2月5日に開催します。また月1回の練習会に会場を提供します。
(3) 県下の教職員のため、メンタルヘルス「こころゆたかり講座」を8月5日、カムバック「現場復帰支援セミナー」を12月8日に開催します。
(4) 熊本県下の児童・生徒のための「会館寄席(学校寄席)」を12月1日(木)に南関町立南関第二小学校で、2日(金)に上天草市立北上小学校で開催します。併せて教職員対象の「会館寄席」を12月3日(土)に国際交流会館で開催します。
(5) NPO法人「チャイルドラインくまもと」の子ども電話相談活動を支援します。また、教職員の電話相談室「レモンガラス」を継続します。
(6) 教育会館ホームページを活用した「アートのひろば」を継続します。

教育会館 アートの広場

Art exhibition schedule for 12 months. Includes artists like 栗崎誠一, 高田尚武, etc.